

つながり

内視鏡による予防・診断・治療へ

— 早期発見・早期治療 —



目次

座談会 内視鏡治療—検診と早期がん治療	1p-2p
E S Dについて	3p
内視鏡センターの紹介	4p
病院広報誌「つながり」アンケート調査ご協力のおかげ	4p-5p
内視鏡室洗浄について	5p
知って得する！ 持って安心！ かかりつけ医	6p
地域の医療機関のご紹介	7p

ご自由に
お取り
ください

座談会

内視鏡治療 — 検診と早期がん治療

消化器内科	大矢内 幹
消化器内科	佐藤 雄一郎
処置外来 (内視鏡センター)	佐々木 一恵



大矢内 幹 部長

大矢内

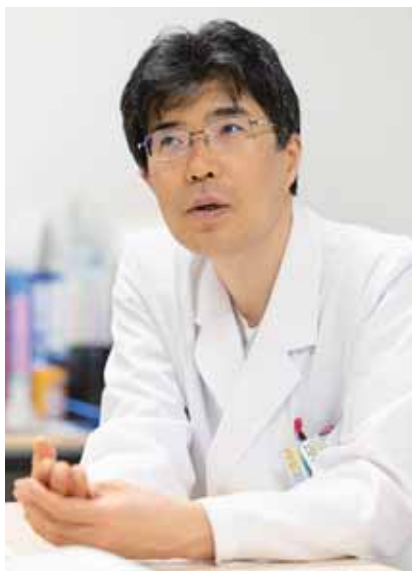
がんは誰にでも起こりうる病気ですので、早期発見が大切です。

今回はそのために必要なことについて、消化器内科の佐藤医師と内視鏡センターにて勤務している佐々木副看護師長と消化器内科の私、大矢内で話し合ってみようと思います。

■がん検診について

大矢内

胃がんと大腸がんはとも多く見られるがんです。進行した場合はさまざまな症状、例えば食欲低下や腹痛、便通異常などを引き起こしますし、毎年胃がんで約4万人、大腸がんでは約5万人の方が亡くなっています。しかし、早期に発見して治療をすれば、ほとんどのがんは治すことができます。やはり症状を起こす前の早期に発見することが重要です。



佐藤 雄一郎 副部長

現在胃の検診は、バリウムによる透視検査が一般的です。人間ドックや職場健診、またお住まいの自治体からがん検診の案内が毎年届くと思いますので、できるだけ定期的にごがん検診を受けていただきたいと思います。

検診の結果で異常が指摘された場合は、ぜひ勇気を出して内視鏡検査を受けてください。当院でも検査の受け付けはしますが、当院の健康管理センター、また大崎市内でも内視鏡検査ができるクリニックがあります。詳しくは当院地域医療連携室にお問い合わせください。

万が一、病変が見つかった場合、当院では地域の医療機関との強い連携を築いていますので、当院に速やかに紹介させていただきます。このように地域一丸となって、市民の皆さんのがんの早期発見に努めてまいります。

■検診で「要精査」と診断された場合の

精密検査について

大矢内

胃については、検診でチェックを受けた場所以外にも、喉元から十二指腸まで、くまなく内視鏡で観察します。近年の内視鏡機器は目覚ましく発展しています。当院ではNBI(狭帯域光観察)という特殊な光を用いた観察や、約80倍まで拡大させ観察して病気の広がりや性状を評価できる拡大内視鏡などを用いて、わずかな変化も見逃さないようにしております。胃がが疑われる病変が見つかったら、1mmほどのかけらを採取（生検）して顕微鏡の検査（病理検査）に提出し、診断します。現在、当科には日本消化器内視鏡学会の認定指導医が3名所属しており、病変の早期発見や適切な治療方針の決定に努めています。

佐藤

大腸がん検診では、便に潜む血液の有無を調べる検査、いわゆる検便を行います。通常2日分の便を採取しますが、便の採取は自宅で行う事ができ、便の表面を採使用の棒でまんべんなくこすり、検査自体に偶発症（副作用や事故）がなく、検査前の食事制限や内服薬の制限も不要です。最近の報告では、毎年検診を受けることで大腸がんの死亡率が60%減ることが報告されています。

佐藤 大腸については、基本的には全大腸内視鏡検査を行っております。バリウムの検査やCT検査もありますが、小さな病変の検出や質的な診断では全大腸内視鏡検査には及びません。また内視鏡検査で病変を認めた場合、生検による病理学的検査、状況によってはそのまま治療が可能であるという利点があります。できる限り苦痛なく安全に検査を行うよう心がけております。また、大崎地区では専門医による大腸内視鏡検査が可能なクリニックも増えております。詳しくは当院地域医療連携室や市の健康推進課にお問い合わせください。



佐々木 一恵 副師長

■内視鏡検査時の看護師の関わり方について

佐々木 内視鏡検査では、多少なりとも苦痛を伴うことがあるため、「つらい」「怖い」など不安に思う方が多くいらっしゃると思いますが、当内視鏡センターでは、患者さんに安心して少しでも楽な気持ちで検査を受けていただくことを第一に考えております。検査中には患者さんの全身状態の観察、声かけや背中をさすったり

手を握ったりしながら、安全で質の高い看護に努めることを心がけております。もしも不安なこと、わからないことがありましたら遠慮なく聞いてください。

■内視鏡治療について

大矢内 胃がんは、胃の壁の表面（粘膜）から発生して、徐々に深く食い込んでいきます。深さが表面にとどまっている段階の早期の胃がんであれば、胃の壁の外側にあるリンパ節へ転移している可能性は極めて低いため、内視鏡を使った治療で治すことができます。この治療はESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）といいます。内視鏡の先端から特殊な電気メスを出し、病変を慎重に観察しながら必要最小限の範囲を剥ぎ取ってくる治療です。静脈麻酔をして手術を行います。いつの間にか夢を見ているうちに手術が終わりますので、心配はいりません。摘出した病変は顕微鏡の検査（病理検査）をしつかりと行い、内視鏡治療で十分かどうかを判定します。結果によっては、リンパ節転移の危険性を考慮して、追加の外科手術を受けていただくこともまれにありますが、当院外科では従来の手術よりも負担の少ない腹腔鏡手術を積極的に行っていきます。

佐藤 良性ポリープ（一部は将来的にがんに発展する可能性あり）や早期の大腸がんは内視鏡で治療が可能です。治療は①ポリペクトミー（茎のあるポリープに対して輪の形のスネアを茎の部分でしめ、高周波電流を用いて切除する方法）、②内視鏡的粘膜切除術以下EMR病変

の根元に生理食塩水などを局注して病変を浮き上がらせてから、スネアでしめつけ、通電して切除する方法）、③内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）に分けられます。ESDは胃の治療と同様です。どの治療法を選択するかは病変の大きさや形によって施行医が判断します。主な合併症は出血と穿孔ですが前者で1%未満、後者で0・1%未満と非常に低率です。

■治療における看護師さんの関わりについて

佐々木 先端技術を使った検査や治療を専門医と組んで行うので、看護師は専門知識を求められています。医療技術の進歩に合わせ、院内外をはじめ内視鏡の勉強会に参加するなど常に自己研さん・自己啓発を心がけ、専門性の高い医療を実施しています。患者さんに寄り添う看護はもちろんです、技術面と精神面の両面から支援し苦痛と不安を和らげる検査をモットーに今後も援助していきたいと考えています。

大矢内 日本人の2人に1人ががんにかかるとされています。「自分は大丈夫だろう」という過信は絶対にしてほいけません。内視鏡診断や治療は日々進歩しています。精度の高い内視鏡検査は、早期の胃がんや大腸がんを見つけて治療に導くことができますので、思い切って内視鏡検査を受けてみましょう。佐藤先生、佐々木副看護師長、本日はどうもありがとうございました。

ESDについて

ESDとは内視鏡的粘膜下層剥離術の英語の略語（Endoscopic submucosal dissection）です。表面にとどまっている早い段階の胃がん・大腸がん・食道がんに対して行う手術で、内視鏡の先端から特殊な電気メスなどの処置具を出して、病気をきれいにくり抜きます。壁の中ほどの層である「粘膜下層」の深さで剥がし取るのでこのような名称となりました。

胃がん・食道がんは口からの内視鏡、大腸がんは肛門から挿入する内視鏡を用います。静脈麻酔（点滴から麻酔の薬を注入して麻酔します）で眠っているうちに手術をしますのでご安心ください。お腹を切ることもなく、臓器は小さくありませんので、体への負担が少なく済みます。術後1〜2日はお腹の重苦しさを感じる方もいらっしゃいますが、痛み止めで症状は和らぎます。経過が良ければ手術翌日から食事を再開します（胃がん術後は流動食から、大腸がん術後は普通の食事です）。1週間ほどの入院で治療ができます。

摘出した病変は顕微鏡の検

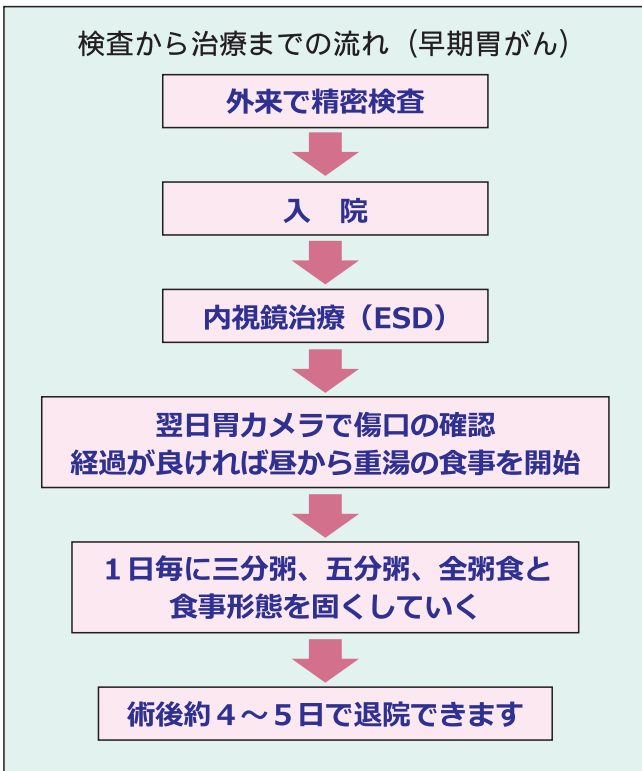


手術時の光景（イメージです）

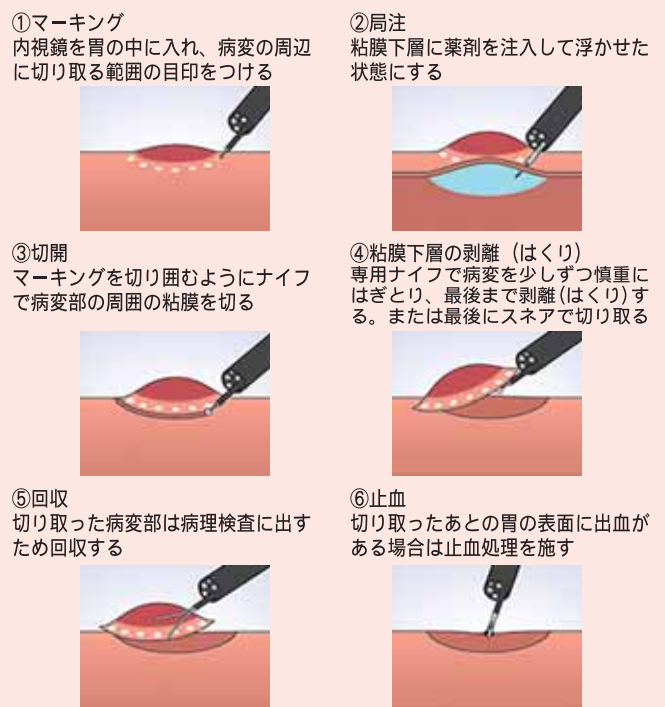
査（病理検査）をしつかりと行い、内視鏡治療で十分かどうかを判定します。結果によってはリンパ節転移の危険性を考慮して追加の外科手術を受けていただくこともまれにありますが、当院外科では従来の手術よりも負担の少ない腹腔鏡手術を積極的に行っていきます。

胃ESDの件数は年間約120件、大腸ESDは年間約40件と、県内でも指折りの治療件数です。経験も十分ありますのでご安心ください。

検査から治療までの流れ（早期胃がん）



ESDの手順



内視鏡センターの紹介



郵便はがき

989-6190

大崎市古川
穂波三丁目8番1号

大崎市民病院
行

料金受取人払郵便

古川郵便局
承認
87

差出有効期間
平成31年11月
30日まで
(切手不要)

フリガナ					
氏名					
性別	男・女	生年月日	S・H	年	月 日
電話番号					
住所	〒□□□□□□□□				

内視鏡センターは、内視鏡による検査・治療の急増に対応するため平成26年に開設いたしました。常日頃から患者さんを中心に考え、安心・安全・清潔に心がけ対応しております。

機器管理の面に関しては臨床検査技師の洗浄スタッフと連携し、病院で使用される光学機器（スコープ等）の洗浄管理も担っており、感染防止、安全に努めております。スタッフは緊急の対応がいつでも

もできるように、学会に参加するなどして前向きに学習を進めており、日本消化器内視鏡学会認定指導医・専門医、消化器内視鏡技師と資格を取得している者が多数所属しています。

他職種が連携して業務を行い、良質な医療を提供するため日々努力しています。できるだけ苦痛の無いように患者さんのご意見を聴きながら、今後も対応してまいります。



内視鏡室洗浄について

当院では、患者さんに安心して内視鏡検査を受けていただくために内視鏡スコープの感染対策に力を入れています。使用した内視鏡スコープや処置具は、日本環境感染学会の定める「消化器内視鏡の感染制御に関するマルチソサエティ実践ガイド改訂版」に準じて洗浄を行っており、洗浄室に担当スタッフ3名、洗浄機6台を配置することで、安全かつ迅速に内視鏡検査を行えるようにしています。

内視鏡洗浄については、酵素系浸漬洗浄剤で予備洗浄を丁寧に行い、その後、自動洗浄消毒装置にて洗浄・消毒を行っています。自動洗浄消毒装置の消毒を適切なものにするため、1日2回消毒剤の有効濃度を測定し、有効濃度が範囲外になった場合のみならず、一定の洗浄回数や使用日数を超えた場合には有効濃度の範囲内であっても消毒液の交換を行っています。

さらに、内視鏡スコープが適切に洗浄されていることを確認するために、ATP（アデノシン三リン酸）の測定を定期的に行っています。ATPとは、あらゆる生物のエネルギー



予備洗浄の様子。この後、自動洗浄消毒装置で洗浄・消毒をします。

ギー代謝に必要な物質のことで、使用後の内視鏡スコープに付着した汚れには、必ず存在するためATP値を測定する事で目視できない汚れを数値化することができます。試薬メーカーの指標では、手指のATP値は2000RLU程度ですが、洗浄後の内視鏡スコープのATP値は100RLU程度とされています。また、これらの洗浄履歴の管理を徹底することで、内視鏡スコープをいつ、誰が、洗浄・消毒したかを把握しています。今後とも患者さんに安全な内視鏡検査を提供できるように努めていきます。

病院広報誌「つながり」アンケート調査ご協力のお 願 い

当院では、地域の基幹病院としての取り組みを患者さんにご理解いただく架け橋として、広報誌「つながり」を発行してまいりました。より読みやすく、わかりやすい広報誌にするために紙面づくりの参考にさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記アンケートはがきに記入の上、ポストに投函願います。

なお、ご不明な点などありましたら、下記担当までご連絡くださいますようお願いいたします。

※ご記入いただきました個人情報、適切に管理し上記目的以外には使用いたしません。

【お問い合わせ先】

大崎市民病院広報委員会（事務局：総務課）
電話 0229-23-3311（内線3504）

病院広報誌「つながり」アンケート調査

〈問1〉 下記の当てはまる項目にチェックをご記入ください。

- ①性別 男性 女性
 ②年代 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80代以上
 ③ご職業 会社員 自営業 公務員
パート・アルバイト 専業主婦（主夫）
学生 無職 その他（ ）
 ④居住地域 大崎市 加美町 色麻町 美里町
涌谷町 栗原市 登米市
その他県内 県外

〈問2〉 広報誌「つながり」を読んだことがありますか？

- 毎回読んでいる（→問3へ）
 とときどき読む（→問3へ）
 一度も読んだことがない

〈問3〉 問2で「毎回読んでいる」「ときどき読む」と答えの方は、どこで読みましたか？（複数可）

- 病院の待合室（分院・診療所・健康管理センター含む）
 病院の病棟（分院含む）
 持ち帰ってご自宅で ほかの医療機関で
 その他（ ）

〈問4〉 今後、広報誌「つながり」に掲載してほしい内容（コーナー）や、その他ご意見がありましたら、ご記入ください。

ご記入後はポストに投函願います。
ご協力ありがとうございました。

知って得する！ 持って安心！ かかりつけ医

当院では、お一人お一人が「かかりつけ医」を持つことをおすすめしております。「ここでは、かかりつけ医についてご紹介します。」

かかりつけ医を知ろう！

- 定期的なお薬の処方や診察
 - 手術などの治療後の経過観察
 - 健康診断や予防接種
 - 「風邪をひいたかも」「ちょっと体調が悪いか」と感じた時の相談
- これらを通じて皆様の健康を守る、身近な信頼できるお医者さんをかかりつけ医といえます。



かかりつけ医のメリットを知ろう！

かかりつけ医は皆さんの健康状態を把握しているのです、ちょっとした体調の変化に気づいてもらいやすいです。

また、医院やクリニックでは、平日も夕方まで診療をしていたり、土曜日診療をしているところが多くあり、お仕事や学校の都合に合わせてやすく、比較的受診しやすい診療時間となっています。

市民病院をかかりつけ医にはできないの？

患者さんの病状にもよりますが、症状の安定している患者さんの日常診療や健康相談については地域の医院やクリニックにお願いしています。

当院は地域の医院やクリニックでは対応が難しい手術や検査、高度な治療を提供する立場で皆さんの健康をお守りしていきますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

大きなけがや病気の時は…

かかりつけ医では難しい処置や検査、手術などが必要になった時には、かかりつけ医から当院へ紹介していただき、当院で責任を持って対応いたします。



当院での検査や治療を終え、症状が安定したら、当院から再びかかりつけ医へ紹介いたします。

まだまだ知りたい！ かかりつけ医のいいところ

たとえばこんなときにも、かかりつけ医は心強い味方になってくれます。

★ ちよっとした体調不良にも

風邪や胃腸炎などすぐに診て欲しい症状にも比較的早めの診察を受けられます。

大きな病院だと予約が必要であったり、担当の先生が手術などのため外来に出いていない曜日があったりと、すぐには受診できない場合も多いです。

★ 自宅や会社近くで

通院時間を短縮したり、仕事帰りに受診したり…そのようなことが可能になりますよ。

★ 子どもも大人も一緒に

医院やクリニックにもそれぞれの得意分野がありますが、子どもからお年寄りまで、幅広く診察してくださる先生方もたくさんいます。

ご家族みんなの健康状態を把握してもらえると心強いですね。

★ ずっと同じ先生に

多くの医院やクリニックでは、いつ行っても顔なじみの同じ先生が診察してくれます。気心知れた先生だと安心して自分の体調を相談できて心強い味方になってくれることばしょ。



かかりつけ医がないという方、 かかりつけ医を探してみませんか？

ご自宅や会社近くの医院やクリニックを受診してみる、知人や近所の方の口コミを参考にしてみるといった方法があります。

また、当院と研修会や連携のつどいなどを通じて連携を深めている「登録医」、さらには登録医の中でもお子さんの診察が可能な「こどもサポート医」をご紹介しますことも可能ですので、当院のホームページをご覧になるか、当院1階総合医療支援センター受付でお尋ねください。



日常の診療や健康相談はかかりつけ医で
専門的・高度な治療は大崎市民病院本院で

地域の医療機関のご紹介

当院は、身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。こちらでは、日々当院と交流のある登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

医療法人 東泉堂病院

診療科目：

内科・消化器内科・循環器内科・
小児科・外科・消化器外科・肛門
外科・整形外科・泌尿器科・皮膚
科・放射線科・ペインクリニック
外科・アレルギー科・リハビリ
テーション科

〒987-0165

遠田郡涌谷町字追廻町70-3

TEL:0229-42-3333

受付時間：午前9時～正午

午後2時～6時

休診日：日・祝日・年末年始

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	—
午後	○	○	○	○	○	—	—

●副院長
佐藤
和重
先生



地域の
みなさんへ

当病院は、明治時代に開設以来、涌谷町および近隣地域住民の健康管理に取り組んでまいりました。24時間救急患者の受け入れ、乳幼児・小児から高齢者の内科、外科、皮膚疾患を含めた総合診療科を中心に外来医療を提供し、整形外科疾患、泌尿器疾患の治療及び痛みに対するペインクリニックも行っております。

また、厚労省難病指定病院として、各種難病疾患の治療を行っています。高血圧、糖尿病、脂質代謝異常症、高尿酸血症などの生活習慣病に対する治療を含め、患者様サイドに立った最新のガイドラインによる治療を提供致しております。



●院長
中川
祐輔
先生

医療法人社団 中川医院

診療科目：

内科・外科・整形外科・耳鼻咽喉
科・皮膚科

〒981-4261

加美郡加美町字町裏208

TEL:0229-63-2504

診療時間：

午前8時30分～午後0時30分

午後2時30分～午後5時30分

※第3木曜日のみ午前8時～正午

休診日：

水土午後・木・日・祝日・年末年始

※第3木曜日のみ診療(午後は甲状腺外来)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	△	○	○	—
午後	○	○	—	—	○	—	—

地域の
みなさんへ

医師となり東北大学第1外科で手術ばかりやっていた気がします。昭和45年にこの中新田に開業しました。当時は何故か急性虫垂炎が大変多い時で、当町でほぼ同時期に開業した同じく第1外科出身の横山先生と連日手術をしていたような気がします。

今はもっぱら地域での「かかりつけ医」として診療し、重い患者さんは大崎市民病院などの専門の先生に紹介し、お願いすることにしております。

つながり

大崎市民病院広報誌「つながり」No.15
2018年11月発行
—次回発行は2019年2月の予定です—

大崎市民病院

〒989-6183 宮城県大崎市古川穂波三丁目8番1号

TEL 0229-23-3311 FAX 0229-23-5380 URL <http://h-osaki.jp>

大崎市民病院

検索